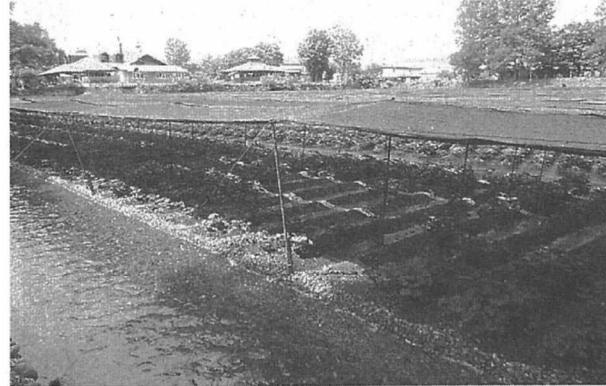


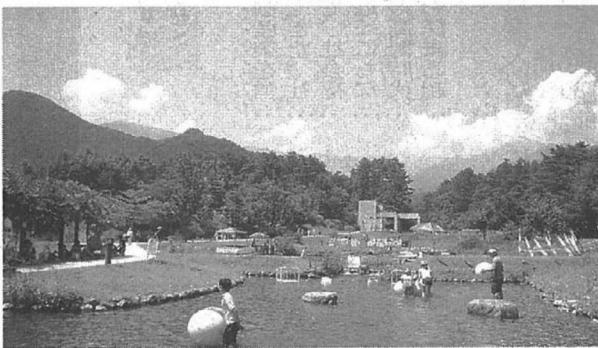
## 地域再生とまちづくり

各都市が目指すものは

<第33回>



①大王わさび農場 ⑤国営アルプスあづみの公園



### 自然の魅力を最大限に 建築には厳しい条件

13年に行つた観光客アンケートによると、市への旅行目的は「自然・風景を楽しむ」「温泉」が6割超ど、観光客の多くは自然に親しむことを目的にしているようだ。安曇野市はこの豊かな自然や風景を守るために、無秩序な開発を防ぐため、土地利用ガイド

き出しているように見える。13年に行つた観光客アンケートによると、市への旅行目的は「自然・風景を楽しむ」「温泉」が6割超ど、観光客の多くは自然に親しむことを目的にしているようだ。安曇野市はこの豊かな自然や風景を守るために、無秩序な開発を防ぐため、土地利用ガイド

長野県のほぼ中央部・中信地方に所在する5町村（豊科町、穂高町、明科町、姫金村、三郷村）が05年10月に合併して、安曇野市は誕生した。

市の西部は中部山岳国立公園の山岳地帯、東部には梓川、烏川、黒沢川などの河川があり、地勢は扇状地が重なり合つた複合扇状地で平たん地が多く、田園風景が多く見られる。また、北アルプスの雄大

な眺望や素朴で美しい田園風景、きれいな水やワサビ田の風景、きれいな水やワサビ田のK連続テレビ小説「おひさま」の影響で観光客数が増加。12年には長野自動車道豊科インターが定着しつつある。安曇野市と大町市・松川村では16年6月18日、国営アル

バスあづみの公園が全園開園した。同公園は長野自動車道にある市内堀金・穂高地区と、約25kmに位置する大町・松川地区に分けられる。大町・松川地区では自然体験、林間レクリエーションなど5つのゾーンが、掘金・穂高地区では田園文化、里山文化ゾーンがあり、ゾーンごとに特徴が異なる。

ターチェンジが「安曇野」に改称したことでの知名度とイメージは定着しつつある。安曇野市と大町市・松川村では春は菜の花、夏はそばの花、野草など季節に応じた植

物の散策、古田を活用した農体験がそれ

ぞれ楽しめる。

園内は特別な施設やシンボルがあるわ

けではなく、そこに

ある自然そのものを

地区に分けられる。

大町・松川地区では自然体

験として見せる演

出をしている。ある

がままの自然や風

景、動植物を生かし

て観光客を集め

ているアルプスあづみ

の公園は、開発によ

って得られる魅力とは別の、

ライノを作成している。

### 長野県安曇野市・無秩序な開発を防ぐガイドライン

ガイドラインでは自然的、社会的条件を踏

まえて市を6つの区域

（拠点市街区域、田園居住区

域など）に分類した。市域の

大半が分類されている田園環境区域、特に基本集落外（10年時点で概ね10戸以上の宅地など）では、厳しい条件を

満たさない限り建物が建築で

きない規制となっている。

過去からの自然・風景を維持し続け、開発に頼らない町づくりを選択した安曇野市

は、急ぎすぎる現代人のオアシスとなっていくかもしれ



穂高温泉郷・八面大王足湯